

## 令和4年度 新規採択要望箇所の概要

## 1 事業概要

事業名	道路総合交付金事業
事業箇所	一般県道線合宮尾線(富山市打出～射水市本江北)
事業延長	延長1.2km(幅員12.5m)
事業内容	道路改良工事(バイパス整備)
総事業費	14.7億円
予定工期	令和4年度～令和13年度

## 2 事業の必要性

- ・富山港と富山新港を結び、湾岸部の各都市、観光拠点等を連絡する道路としては、海沿いの国道415号があるが、現道は幅員が狭く、大型車両の通行に支障をきたしている。また、交通量が多いが、人家が連担し、歩道が無いことから、歩行者・自転車と車両が交錯し、危険な状態となっている。本事業は、これらの対策として、バイパス整備を行うものである。
- ・現在、富山市四方荒屋から打出にいたる約1.7kmを整備中であり、令和3年度内の供用を予定している。引き続き、富山市打出から射水市内の県道小杉本江線までの約1.2kmの事業を新たに進めることで、更なる事業効果を発現し、当該地区の安全で円滑な交通を確保するものである。

## 3 事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・富山港と富山新港を結ぶ本事業区間の整備により、富山市と射水市を結ぶ富山湾沿岸部の道路ネットワークが強化される。

## 4 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.2

※走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少による便益

## 〈その他の効果〉

- ・富山湾沿岸部の各都市、観光拠点等の連携強化による地域の活性化
- ・交通の円滑化による産業、経済活動の促進
- ・当該地区の安全で円滑な交通の確保

## 5 推進体制

- ・七美四方荒屋間県道建設促進期成同盟会、射水市からの要望あり。

## 〈写真〉



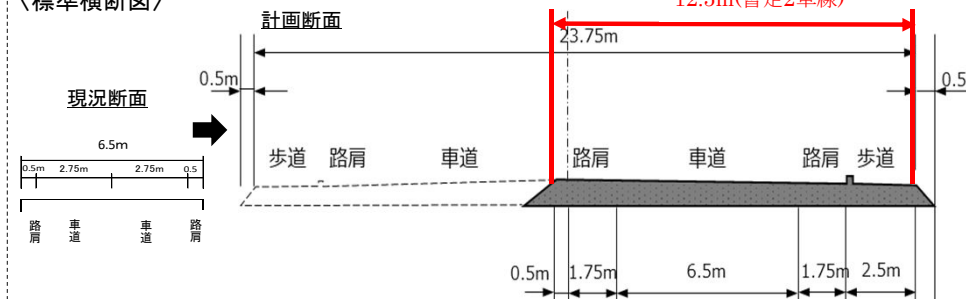
## 〈位置図〉



## 〈航空写真〉



## 〈標準横断面〉



今後の検討により変更となる場合があります

# 令和4年度 新規採択要望箇所の概要

## 1 事業概要

事業名	道路総合交付金事業
事業箇所	一般国道304号（南砺市荒木地内）
事業延長	延長0.47km(幅員16.0m)
事業内容	道路改良工(現道拡幅)
総事業費	13.7億円
予定工期	令和4年度～令和10年度

## 2 事業の必要性

・一般国道304号は、石川県金沢市を起点とし富山県南砺市下梨に至る幹線道路で、東海北陸自動車道福光ICへのアクセス道路であり、ユネスコ世界文化遺産である白川郷・五箇山の合掌造り集落などの観光拠点と連携するなど石川、富山、岐阜三県の交流や沿線地域の発展に重要な役割を担う路線である。本事業の整備により、富山県・石川県の経済・産業・観光振興を支える重要な道路ネットワークが強化される。

・事業箇所の南砺市荒木地内は、沿線に南砺市役所統合庁舎が開庁(令和2年7月)され、JR福光駅へのアクセス道路でもあることから交通需要が高い。また、商店等が連坦しており、道路幅員が狭く一部歩道が未設置であることから、自転車・歩行者と自動車が交錯する危険な状態となっている。現在事業中の高宮バイパスが令和4年度に供用予定であり、接続する当該区間の整備により、沿道地域の円滑な交通や安全性の更なる向上が図られる。

## 3 事業の適切性(事業規模、区間など)

・本事業の整備により、富山県と石川県を結ぶ広域的なネットワークの強化が図られることに加え、交通需要が高い本事業区間においては、沿道地域の円滑な交通及び安全性の向上に寄与する。

## 4 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.2 ※走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少による便益(その他の効果)
- ・交通の円滑化による富山県、石川県の経済・産業・観光振興の促進
- ・緊急輸送道路(第1次)の強化

## 5 推進体制

- ・国道304号南砺市役所前工区対策協議会
- ・一般国道304号道路整備促進期成同盟会

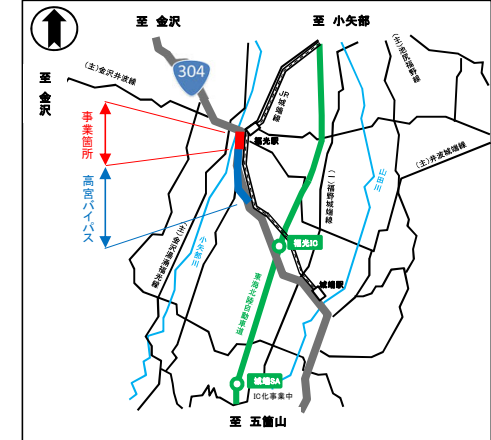


幅員が狭く商店が連坦し、歩道が未整備

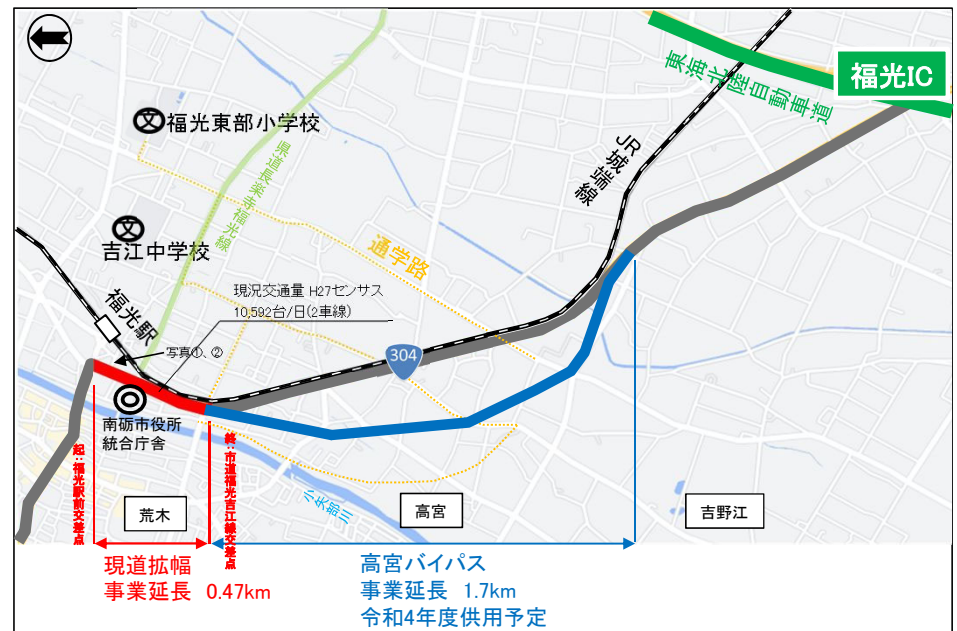
## <位置図>



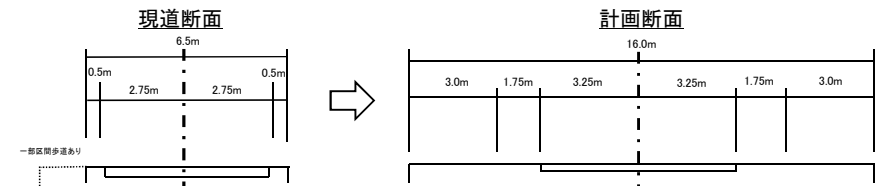
## <周辺図>



## <計画平面拡大>



## <標準横断面図>



今後の検討により変更となる場合があります



# 令和4年度 新規採択要望箇所の概要

## 1 事業概要

事業名	河川改修
事業箇所	一級河川神通川水系坪野川（富山市婦中町速星地内）
事業延長	延長 280m
事業内容	護岸工、市道橋架替工
総事業費	11億円
予定工期	令和4年度～令和10年度

## 2 事業の必要性

- 富山市婦中町の坪野川流域では、近年、住宅や商業施設等の開発が進んでおり、坪野川では、局地的な集中豪雨等により、平成16年7月には浸水面積20ha、浸水戸数62戸、平成20年7月には浸水面積4.3ha、浸水戸数25戸の被害が発生している。
- 本河川においては、治水上のネックとなっているJR橋梁の架け替えを含むJR工区が来年度に完了する見込みであることから、引き続き、ネックとなっている市道橋架替を含むJR工区上流の延長280mにおいて河道の拡幅の改修工事に着手し、市街地の浸水被害の軽減を図るものである。

## 3 事業の適切性(事業規模、区間など)

- ボトルネックとなっている市道橋架替を含む区間を整備することで、上流部の浸水被害の軽減、および整備箇所の治水安全度の向上を図る。

## 4 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C) 3.8  
 ※一般資産被害、農作物被害、公共土木施設被害、営業停止被害等の抑止効果による便益

## 〈その他の効果〉

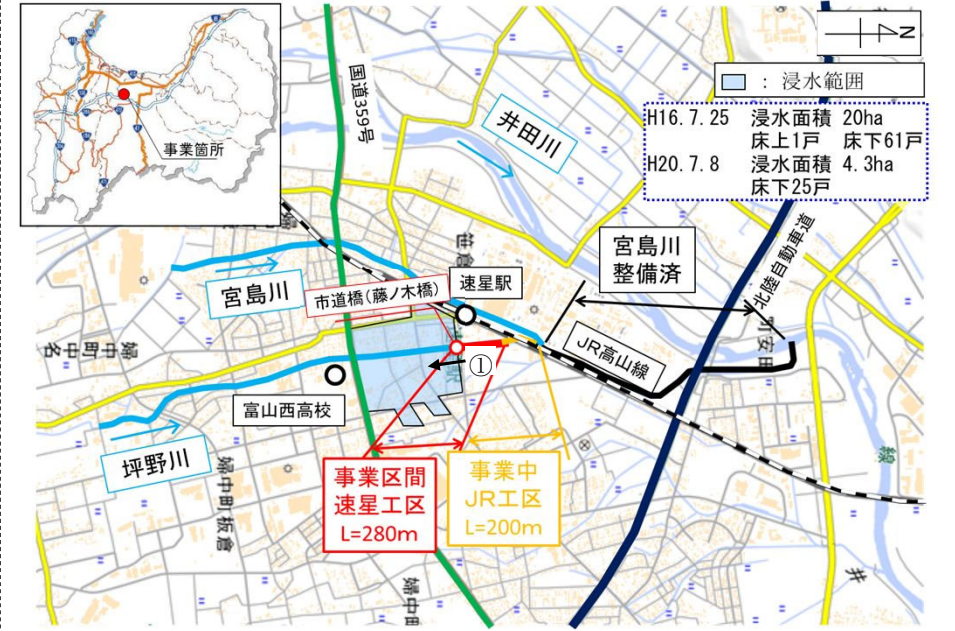
- 人命等の人的被害の軽減 等

## 5 推進体制

- 坪野川改修促進協議会、富山市からの要望あり。



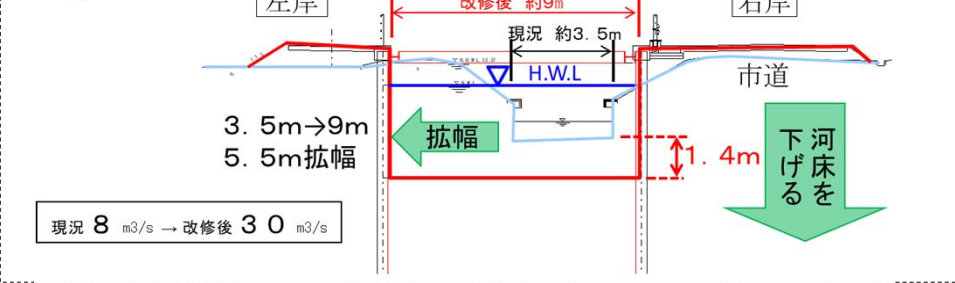
## 〈位置図〉



## 〈航空写真〉



## 〈標準横断面図〉



今後の検討により構造が変更となる場合があります